

集団的自衛権行使は絶対に許さない

緊急宣伝に通行人も立ち止まり、「そのとおりだ」と激励

集団的自衛権行使を認める憲法解釈の変更を安倍首相が検討すると表明した15日夕方、日本共産党北海道委員会はただちにJR札幌駅南口で、緊急の街頭宣伝をしました。

森つねと道国政相談室長がマイクを握り、「これまで日本が戦闘行動に参加しなかったのは、武力行使はできないという憲法9条の歯止めがあったからです。憲法解釈を変更し、アメリカとともに戦争することは絶対に許しません」と抗議。「武力行使ではなく、外交的努力を強めることこそ、国民の命を守ることになります」と訴えました。

二人連れの若い女性は「若者が戦場に行くのはだめ」とビラを受け取りました。近くに勤務する会社員の男性(42)は「集団的自衛権の行使容認は言語道断です」「まわりの人にも伝えます」と話し、森氏の訴えに「そのとおりだ」と声援を送っていました。



緊急街頭宣伝で訴える森氏(右)＝15日、札幌市

憲法記念日に「9条守れ」と紙議員らが訴え



憲法記念日の宣伝をする(右から)佐野、紙、森、坂本の各氏＝3日、札幌市

紙智子参議院議員と森つねと道国政相談室長は3日、JR札幌駅北口で佐野ひろみ道議候補、坂本きょう子札幌市議(ともに北区)と憲法記念日の街頭宣伝をしました。

紙議員は、安倍政権が解釈改憲で集団的自衛権を行使しようとしていることを告発し、この間の世論調査で「憲法を変える必要はない」と答えた人が過半数になっていることを紹介。『安倍政権がすすめる戦争する国づくりは許さない』という国民の声を大きくして、危険な流れをストップさせましょう」と呼びかけました。

国民と力を合わせ「戦争する国」にさせない 南空知さくらまつり(栗山町)で大門議員

大門実紀史参議院議員は11日、栗山町で開かれた「南空知さくらまつり」で「TPP反対、戦争する国にさせない運動でがんばりましょう」と呼びかけました。

サクラの花びらが舞う会場の栗山公園には約200人が参加。大門議員は「秘密保護法の問題でも、ブラック企業や雇用の問題でも、自民党の悪政に対決できるのは日本共産党だけになりました。自民党からも『自共対決の時代』といわれています」と述べ、「国会では8割近くが改憲勢力で原発推進派だが、それを許さないのは党と国民のがんばりです」と話しました。



さくらまつりで訴える大門氏＝11日、栗山町